



富久ソラからのうちゅうだより (本園)

～1月号～

～ONE ROOF～

「大きなうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになり、そして成長して、未来を創り出す力を育てていこうという思いを込めています。

社会福祉法人東京児童協会
富久ソラのこども園ちいさなうちゅう
(本園) 〒162-0067 東京都新宿区富久町 14-1
TEL 03-6380-0414
(分園) 〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-3-13
TEL 03-6380-6437
令和5年1月10日発行
園長 松山 有希子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。冷たく澄んだ空気のように清々しい新年を迎えました。新しい1年がお子さま、保護者の皆さまにとって、健やかで幸多き年となりますよう、お祈り申し上げます。子どもたちの「明けましておめでとうございます。」と元気な挨拶と共に、それぞれが楽しかった年末年始の話しをしてくれて賑やかな年明けとなりました。松の内も過ぎ、子どもたちの生活リズムも整えながら、この時期ならではの伝承遊びなどにも触れ、今後も園生活を通して、さまざまな経験を積み重ねていき、充実した教育保育活動を行ってまいります。

昨年は、保育施設における虐待行動や不適切な保育が相次いで報道され、不安を抱かれていますご家庭もあるかもしれません。虐待という行為は、許されてはならない行為です。私たちも、日頃から子どもの人権を尊重した言葉掛けや関わり方など、適切な保育について振り返りを行っております。先月は、職員同士で互いの保育や子どもへの関わりなどディスカッションを交えて研修を行いました。こども園は、集団生活の場でもありますが、一人一人の思いを尊重し、さまざまな場面での子どもの気持ちや言動の背景を読み取り、寄り添った関わりを行ってまいります。子どもの健やかな心身の成長を助長するために、保育者が子どもにとって、ありのままを受け止め、安心できる人的環境として更なる質の向上を図ってまいります。



今年の干支「癸卯」は、飛躍や向上する年とも云われております。兔のように、子どもたちも伸び伸びと飛躍できるよう、私たち職員一同、園児一人一人の育ちや発達を支え、こども園が安心安全で乳幼児期に相応しい豊かな生活の場となるよう努めてまいります。また、今年度も残り3か月となり、これから年長児は就学に向け、他学年も次年度に向けて、1日1日を大切に過ごしながら、生活の場をスムーズに移行していけるよう整えてまいります。

保護者の皆さまにおかれましては、ご協力いただくことも多くなりますが、本年も変らぬご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



【登降園時の受け入れ方法・保育参加について】

当法人では、新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトチームを設置し、国や自治体の動向に合わせて、その都度、対策を見直してまいりました。新型コロナウイルス感染症の位置づけや濃厚接触者の定義の変更など常に状況が変わっていきなかつた中で、私たちも子どもたちの命を守る場として、どのような制限が必要でどのような対策をしていくべきなのかを学びました。現在、感染症拡大防止対策として、保護者の皆さまには、玄関でのお子さまの受け入れ、引き渡しを行っておりますが、2月から保護者の皆さまに、園内に入っただき、受け入れ、引き渡し方法を変更します。また、保護者の方が園内に入れず、保育の様子などもご覧いただく機会が少なく、お子さまの園での様子や友だち、保育者との関わりを見ていただく機会として保育参加も検討しております。新たな形で導入をしていくため、就学前の年長児、幼児クラスへの移行を控えている2歳児クラスより行っております。別途、ご案内いたしますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【1月の予定】

- | | |
|---|-------------------------|
| ・10日(火) 3学期始業式(3・4・5歳児)
新年お楽しみ会(全園児) | ・17日(火) 異文化交流(3・4・5歳児) |
| ・12日(木) 避難訓練(全園児) | ・18日(水) 体育指導(3・4・5歳児) |
| ・13日(金) 杉アート(5歳児) | ・19日(木) 誕生会(全園児) |
| ・16日(月) スポーツプロジェクト(5歳児) | ・27日(金) スポーツプロジェクト(5歳児) |
| | ・31日(火) 異文化交流(3・4・5歳児) |

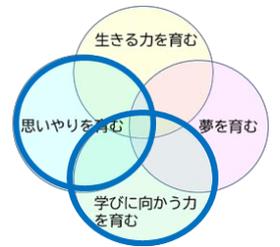
【おねがい】

行事などのお知らせ、アンケートなど、今後は、紙媒体から電子データ(主にグーグルフォームを使用)にて集計をとらせていただきます。ご協力お願いいたします。





自然に触れてたのしいね♪



寒さが一段と厳しくなる中、あひる組は元気よく、富久さくら公園や新宿御苑に散歩に行っています。散歩に出かける際に保育者が「お散歩出発！」と伝えると、嬉しそうに握った手を挙げています。公園に着き、バギーから下りるとすぐに探索を始め、赤や黄色の落ち葉を見つけて、バケツにたくさん集めてみたり、保育者に「あった！」と嬉しそうに見せてくれたりしています。また、落ち葉を両手で持ってひらひらと飛ばして落ち葉の雨にしてみたり、お面にして「ばぁ！」といたないないばあをしたりと様々な遊び方をするようになりました。これからもたくさん散歩に出かけていき、季節の植物や自然に触れて、親しんでいけるようにしていきます。(青山)



みつけた！



これ、なんだろう？



はっぱあったよ！

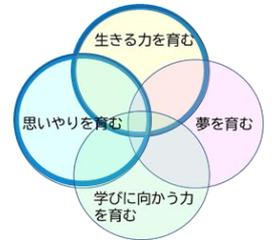


- ＜1月のねらい＞
- 生活リズムを整え、寒い時期を健康で快適に過ごせるようにする。
 - 季節の行事に親しむ。(新年お楽しみ会、節分)





おてつなごう！



厳しい寒さの中、頬や鼻を赤らめながらも元気に過ごしている子どもたち。散歩先では戸外の気温の変化を感じ取り「さむいねえ」と保育者や友だちに話しています。園内では食事やおやつの際、ランチルームまで友だちと手を繋いでいるのですが、歩行が安定し、散歩先でも少しずつ友だちや保育者と手を繋いで歩くことができるようになってきました。初めは保育者が子ども同士の手を繋ぎ合わせていたのですが、最近では「〇〇ちゃんと〇〇ちゃん手を繋げるかな？」と声をかけると周りを見渡して友だちを探しています。友だちと関わる経験を重ねて親しみも増し、互いに手を伸ばしながら手を繋ぐ姿に成長を感じました。これからはたくさん歩き、遊びながら体力をつけ、寒い冬を乗り越えていきたいと思います。(築田)



～ジュースどうぞ～

折り紙や毛糸を食べ物に見立てて遊ぶ“見立て遊び”を行っています。保育者が毛糸を見せながら「これは何に見えるかな？」と尋ねると「めんめんだね」「うどん！」と思いつきに想像しながらご飯を作り遊んでいました。また、以前花紙をちぎって作ったジュースを、友だちのコップに入れるなど友だちとの関わりも楽しんでいます。

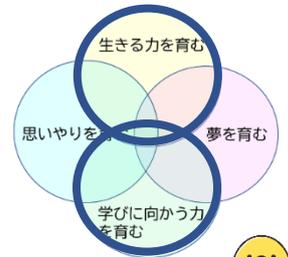


めんめん
おいしそう～

- <1月のねらい>**
- 身近な冬の自然に興味を示しながら、寒さに負けず戸外で元気に身体を動かす。
 - 保育者や友だちと言葉のやり取りをしながら、見立てやつもり遊びを十分に楽しむ。



自分のことは自分で



寒さが一段と身に染みる季節になり、子どもたちは登降園時や散歩時など自分で上着の着脱を行なっています。初めは「せんせいやって」と保育者を頼っていましたが、ハンガーの掛け方やボタン・ファスナーの着脱の仕方を知っていくうちに「じぶんでやる！」と言い、着脱から片付けまで自分でやってみようとしています。困っている友だちがいると「いっしょにやる?」「つぎはこうやってやるんだよ」等優しく声をかける姿が見られるようになり、その姿が微笑ましくもあり、成長を感じます。

先月から昼食時もエプロンを使用せず食事を摂り始めました。「おにいさんおねえさんだからもうエプロンつけないんだよね」と少し誇らしげに話しながら、食べこぼしがないように食器の位置や食べる時の姿勢など意識しながら食事をしています。献立によっては食べこぼしてしまうこともありますが、その際は自分で「よごれちゃったからきがえるね!」と気が付き、着替えています。

今後も身の回りの物を扱うなど、子どもたちでできることを少しずつ増やしていけるように、一人一人を見守っていきたいと思います。(小間沢)



<ひよこ組にもサンタさんが来たよ!>

12月22日に誕生会とクリスマス会がありました。あわてんぼうのサンタクロースのペープサートを見たあと、タン布林やカスタネットなどで合奏しながら歌を歌い、クリスマス会を楽しみました。昼寝から起きると、保育室にはプレゼントが!プレゼントを見つけると「なんだろう!」と目をキラキラさせながら喜ぶ子どもたち。プレゼントは特大のカラー積み木です。保育者に遊び方や約束事などを教えてもらい、早速遊びました。自分のイメージしたものを作ったり、友だちと一つのものを作ろうとしたりする姿を見守り、みんなで楽しく遊べるようにしていきたいと思います。



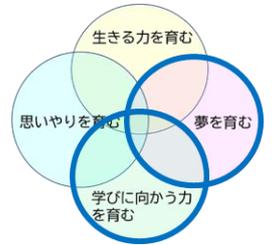
<1月のねらい>

- 身の回りを清潔にする心地よさを知り、健康に過ごす。
- 戸外活動や運動遊びを通して、活発に身体を動かす。





共に成長すること



木の葉が黄色から枯れ葉に変わり、季節はすっかり冬になりました。登園すると子どもたちの間では「きょう、すごくさむかった」「てぶくろしてきたよ」と冬の訪れを感じる会話が増えています。散歩先では自然散策をしながら「どんぐり、ないね」「むしさんいなくなった」と秋から冬への季節の移ろいを感じる姿も見られました。

先月行われた大きくなった会では、子ども同士の温かい関わりをたくさん見ることができました。完成した衣装を初めて着る日に、しっぽの付け方が分からず困っているお友だちに「しっぽは、あしからだよ」と優しく教える子もいました。鏡の前で変身した自分の姿を嬉しそうに見たり、友だちと一緒に「かわいいね」「もこもこだね」と話したりするなど、はな組がより一層賑やかになりました。当日は緊張しながらも大きな声で台詞を言ったり、動物になりきって跳ねたりハイハイしたり、みんなとても楽しそうでした。また、一緒に作った大道具や衣装、おだんごパンの歌など子どもたちにとって大きな達成感を味わう機会になりました。クラスの様子や子どもたちの関わりが少しでも伝わりお子さまの成長を共に感じていただければ幸いです。ご協力ありがとうございました。また翌週の振り返りでは「たのしかった」という事が多かったので「何が楽しかったか言えるかな」と理由を聞くと「パパ(ママ)がみにきてくれてうれしかった」や「おだんごパンをころがすときがたのしかった」など理由を説明し、その姿にも成長を感じることができました。

今後も日々の生活を大切に、たくさん戸外で遊んで寒さに負けない身体作りを目指したり、様々な素材を使用して制作活動を行ったりします。泣いて笑ってたくさん食べて寝て、これからもみんなで共に成長していきたいと思います。(川田、永池)



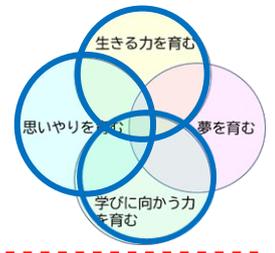
ホッとひといきコーナー「サンタさんへのお手紙」 ❀ クラスで起こった可愛いエピソードを紹介します

クリスマスが近づいたある日、はな組では「サンタさんにレゴをおねがいするんだよ」「わたしはドレスにするの」と子ども同士で会話が聞こえます。ひらがなを教えてほしいと言うAちゃんに、保育士が「どうして」と聞くと「サンタさんにおてがみかきたいの」と答えました。保育士と一緒にサンタさんへの手紙を完成させると嬉しそうにスキップし、リュックに手紙をしまうAちゃん。その姿に思わずホッと笑みがこぼれました。願いは叶ったのでしょうか。(永池)

<1月のねらい>

- 冬の健康な生活の仕方を知り、自分なりにやってみようとする。
- 友だちと思いを伝え合いながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。





靴下を編みました！

クリスマス前には、サンタさんがクリスマスプレゼントを入れられるように、クリスマスソックスを作りました。毛糸を穴に通して両開きの靴下が袋状になるようにしました。はじめは「どうやってやるの?」「せんせいがやってよ」と話している子もいましたが、紐通しのやり方が分かると、「これでいいの?」「できている?」と確認しながら、最後まで集中して作ることができました。作り方が分からず困っている友だちがいると「かして、こうやってつくるんだよ」と優しく教えてあげる子もいました。自分でボタンを着脱したり、箸を使って食事をしたりするようになり、指先を動かすことが増えてきています。これらのように指先を動かし脳が刺激されて、手先の器用さを高めるだけではなく、運動能力や記憶力、思考力、コミュニケーション能力等を育めるといわれています。“できない”から諦めるのではなく、どうしたらできるようになるのか考え、できないことができるようになった時の喜びを感じられるような活動を取り入れていきたいと思えます。(桜澤)



友だちと遊ぶって楽しい！



進級当初から、しっぽとりゲームや鬼ごっこ、だるまさんが転んだ等の集団遊びを取り入れていました。保育者が一緒に行わないと遊びが終わってしまうことがありましたが、運動会や大きくなった会を通して、友だちと一緒に一つの事に取り組む楽しさや面白さを体験し、公園に行くと「どろけいをやるひといいる?」「おにをきめよう」と積極的に集団遊びを行うようになりました。ルールが分からない子やルールを守らない子がいると「ちがうよ、こうやってやるんだよ」と説明をして、自分たちで解決しようとしています。どろけいで泥棒役になると、ただ走るだけでなく、どうしたら自分も警察役の友だちに捕まらず、捕まった仲間を助けられるか考えて動くようになってきています。



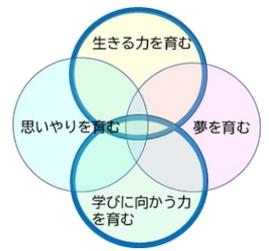
<1月のねらい>

- 冬の生活に必要な生活習慣を身に付け、健康で快適に過ごせるようにする。
- 友だちと思いや考えを出し合いながら、遊びを進めていく楽しさを味わう。





就学に向けて



新年あけましておめでとうございます。昨年も行事や日々の活動を通して心と身体が一段と成長したように感じます。たくさんのご理解ご協力に感謝いたします。年明けと共に卒園までの日数をカウントダウンする時期になり、就学に向けて一人ひとりが自信を持って過ごせるようにしていきたいと思っております。先月の大きくなった会では、自分の役割に責任を持って取り組み、みんなと劇を作り上げる楽しさや難しさ、音を合わせる気持ち良さ等を経験することが出来ました。この経験を糧にこれからも、友だちと思いを伝え合ったり、協力したりして、物事を進めていく楽しさや実現できた喜びを感じられるような活動をしていきます。

今月は昔から親しまれている正月遊びを行います。遊び方だけでなく、その意味や由来を確認し、日本の伝統に触れる機会を作っていきたいと思っております。(巻瀧)



就学に向けて生活習慣の見直しをしています。ご家庭でも是非お子様と確認していただき、毎日を元気に過ごせるようにしていきましょう。

・早寝早起きをする・朝ご飯をきちんと食べる・朝、歯磨き、洗顔をする・排便をした際自分でおしりを拭く・自分で身支度を行う等、身の回りのことを自分で行うことが就学の際に大切になってきます。今から、翌日に着る服の準備や園での着替えを自分ですること等が習慣になると、忘れ物に気付き、自分のことは自分で行おうとする意識を持つようになりますので、ご家庭でも少しずつ取り入れられるとよいと思います。また、就学後は小学校での出来事や伝達事項をお家の方に話す事も大切になってきます。園での出来事等をじっくり聞く時間も大切にしていきたいと思っております。園では引き続きロッカーの整理整頓の時間を設け、身の回りを整えて過ごす心地よさを感じられるようにしていきます。



その日に作ったものや塗り絵は
その日に持ち帰るようにし
ロッカーの中を整理しています。



<1月のねらい>

- ・自分のたてた目標に向かって根気よく取り組み、できた満足感を味わう。
- ・友だちと一緒にルールを決め、遊びを進めていく楽しさを味わう。

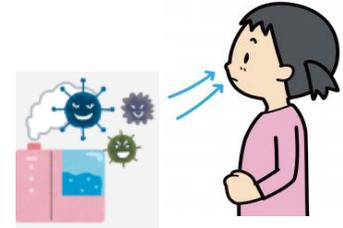
保健だより

あけましておめでとうございます。今年も、健康で元気で楽しく過ごせるように、食事、運動、睡眠のバランスを大切にしていきましょう。感染症から身体を守るためには、手洗い、消毒、うがいをひとつずつ、しっかり行っていきましょう。

1月の目標
手洗い、うがいを丁寧に、冬の感染症を予防する。

《加湿器のお手入れをしましょう》

コロナ渦であることはもちろん、気温と湿度が低くなり、家の中で加湿器を使うことが多くなりました。加湿器は内部で雑菌が繁殖すると、湿気とともに雑菌が部屋中に放出されます。しっかりお手入れをして清潔に保つことが重要となります。



お手入れのポイント

- ① 加湿器には「ハイブリッド式」「気化式」「スチーム式」「超音波式」の4つのタイプがあります。ご自宅で使用している加湿器の説明書にそって、正しくメンテナンスしましょう。
- ② 毎日水を入れ替え、水をつぎ足しはしない。きれいな水を少し入れ、ふり洗いをして清潔にしましょう。
- ④ 加湿器に使う水は水道水にしましょう。
※浄水器を通した水やミネラルウォーターは、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- ④ トレイやフィルターなどは、定期的にお手入れをしましょう。



(厚生労働省 レジオネラ症より・大阪健康安全基盤研究所より)

《有効な手指消毒とは・・・》

インフルエンザや新型コロナウイルス感染拡大防止のため外出先では、どこにでも「手指消毒」が設置されていますが、手に付けるだけでは不十分なため、有効な消毒方法を再度確認しましょう。

ポイント

- ① ポンプは押し切るまで1プッシュ。
15秒以上すり込めないのなら追加プッシュする。
- ② 爪に消毒液がかかるように、左記の手順に沿って（全体に消毒液がいきわたるように）すり込む。



(PRO サラヤ〜手洗いの科学より)



食育だより

幼児クラスは、鮭の解体を見学し、目の前に登場した鮭の大きさに驚いていました。実際にさばく様子を見ることで命を頂いているということを実感でき、感謝の気持ちへもつながりました。

月組が5月に仕込んだ味噌を使ってクッキングをしました。そのままの味噌はキュウリにつけて、みりんと砂糖で溶いた味噌は焼きおにぎりにし、味噌汁も添えて、3種類の調理法を食べ比べ、喜んで味わっていました。



なにがでてくるかな？



みそのいいにおいがするね！



おいしいね！



1月献立について



新年を迎え、日本伝統料理である『おせち料理』や『七草粥』を取り入れ、料理に込められた意味や『鏡開き』の由来について子どもたちに伝えていきます。また、今月の郷土食は愛知県です。テーマ野菜の小松菜やほうれん草などの葉物野菜も子どもたちが好き嫌いせずにバランスよく食べられるよう工夫した献立を考えています。

小松菜



βカロテンやビタミンC、鉄分その他、カルシウムも豊富に含まれています。植物性のカルシウムは、吸収率が19%と低めですが、肉や魚、乳製品などの動物性たんぱく質と合わせると吸収率アップが期待できます。園では卵の中華炒めやチーズのチヂミに使用し提供します。

ほうれん草



とても栄養価が高い緑黄色野菜で貧血を予防するための鉄分、免疫を高めるビタミンCやβカロテンなどミネラル類が豊富です。旬の冬には、栄養価も特に高くなります。園では副菜の胡麻和えやカレーライス、おやつのマフィンに使用し提供します。

おせち料理について

おせちとは、『お節句（おせっく）』という言葉からきていて、神様にお供えした後に私たちもいただくと、その恩恵が受けられることができると考えられています。

子どもたちには、食材ごとに健康や幸せを願う気持ちが込められていることを伝えていきます。

園で提供する料理とその願い

【田作り】 

その年の豊作を願ってたくさん実るように

【きんとん】 

黄金（お金）に見立て、豊かに暮らせまるように

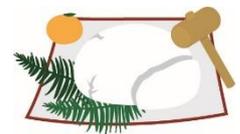
【紅白なます】 

紅白のお祝いの水引より、平和に暮らせるように

この他に、松風焼きと黒豆蒸しパンを提供します。

鏡開き

鏡開きは毎年、松の内が明けてから1月11日に行います。お正月にお供えしたお餅を木槌等で割り、無病息災を願ってお汁粉やお雑煮で食べる行事です。園ではお餅の代わりに南瓜餅を使用し提供します。



※当法人では誤嚥・窒息につながりやすい食材のため、お餅の提供は行いませんが、ご家庭で食べる際は子どもの様子に合わせて、十分に注意して召し上がるようお願いいたします。

3歳未満へのお餅の提供は咀嚼が不十分な為、控えることが望ましいとされています。